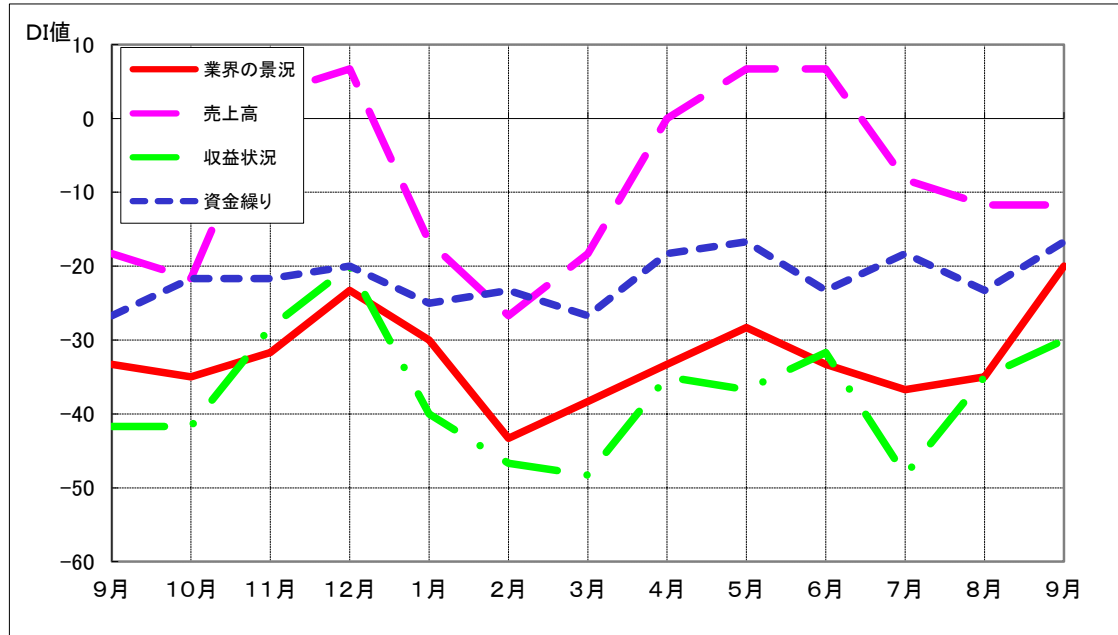


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 令和3年9月～令和4年9月

単位:ポイント



	R3				R4								
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
業界の景況	-33.3	-35.0	-31.7	-23.3	-30.0	-43.3	-38.3	-33.3	-28.3	-33.3	-36.7	-35.0	-20.0
売上高	-18.3	-21.7	3.3	6.7	-16.7	-26.7	-18.3	0.0	6.7	6.7	-8.3	-11.7	-11.7
収益状況	-41.7	-41.7	-28.3	-20.0	-40.0	-46.7	-48.3	-35.0	-36.7	-31.7	-48.3	-35.0	-30.0
資金繰り	-26.7	-21.7	-21.7	-20.0	-25.0	-23.3	-26.7	-18.3	-16.7	-23.3	-18.3	-23.3	-16.7

9月のDI値は前月と比べ、3項目改善、1項目不変であった。「業界の景況」DI値は15.0ポイント、「資金繰り」DI値は6.6ポイント、「収益状況」DI値は5.0ポイント改善し、「売上高」DI値は不変となった。

前年同月比においては全項目改善し、「業界の景況」DI値は13.3ポイント、「収益状況」DI値は11.7ポイント、「資金繰り」DI値は10.0ポイント、「売上高」DI値は6.6ポイントそれぞれ改善となった。DI値は改善となっているが、数値はマイナスとなっている。

連絡員からは、業種を問わず原材料及びエネルギー等の価格高騰による影響が報告されている。製造業では仕入コストの増加に伴い、価格改訂等の対応を実施しているが、上昇分の全てを転嫁することは難しく、企業の収益を圧迫している。また、価格上昇のスピード、年度内での繰り返しの値上げ要求など対応に苦慮している。さらに、円安の影響も加わり、さらなる経費の増大を心配する声もある。

非製造業では、物価上昇による影響が報告されており、企業の経営を圧迫している。一部では、値上げによる客離れの影響を懸念する意見も寄せられている。

組合からの要望として、物価高騰に関する補助金の充実等があがっている。